

和歌山県立医科大学附属病院 放射線科

当科の特徴

当科には放射線診断専門医が8名、放射線治療専門医が3名、日本IVR学会専門医が5名、日本核医学専門医が1名、マンモグラフィー読影認定医が6名在籍しており、多種多様な指導体制が整っています。また、胸部・腹部ステントグラフト指導医が2名在籍しており、放射線科でステントグラフト内挿術が施行可能です。設備として、64列IVRCTシステム、ハイブリッドORシステム、320列CT、3T MRI、Tomotherapyなどが導入されており、画像診断、画像下治療（IVR）、放射線治療などの最先端医療を経験することが可能です。また、連携している南和歌山医療センター、岸和田徳洲会病院、耳原総合病院、和歌山ろうさい病院、阪南市民病院、橋本市民病院、府中病院、公立那賀病院、和歌山南放射線科クリニック和歌山PET画像診断センターなどの施設も、日本医学放射線学会の専門

医修練機関や特殊修練機関に認定されており、これらの施設での研修で専門医の習得が可能です。

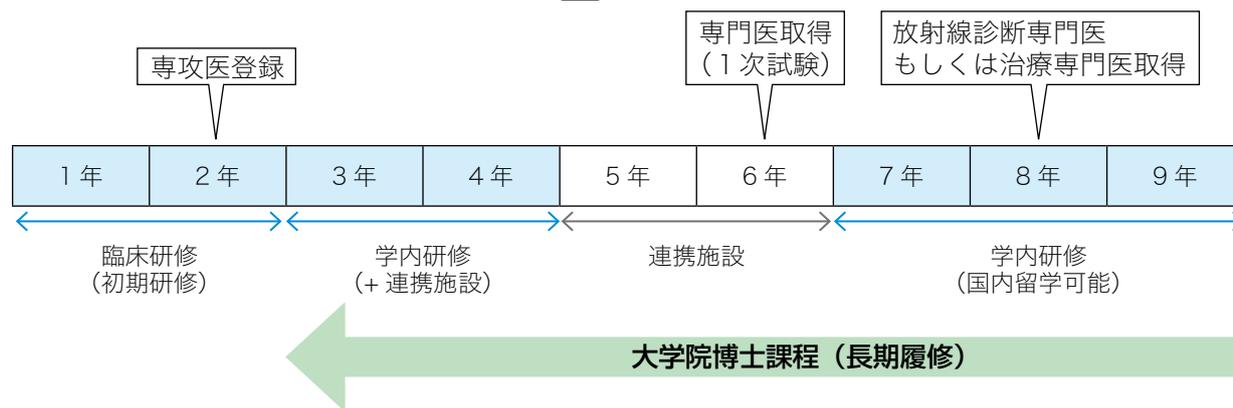
卒後1、2年目の臨床研修（初期研修）修了後、3年目から8年目までは原則、新専門医制度に準拠した「和歌山県立医科大学放射線科専門研修プログラム」に従って研修に従事してもらいます。6年目に基本領域の放射線科専門医を取得していただき、その後は放射線診断専門医、放射線治療専門医を目指して自分の専門分野に沿った研修を続けてもらいます。8年目に自分の専門分野の専門医（診断専門医もしくは治療専門医）の取得を目指します。



ローテーション例

一般枠コース

※ □ は学内研修

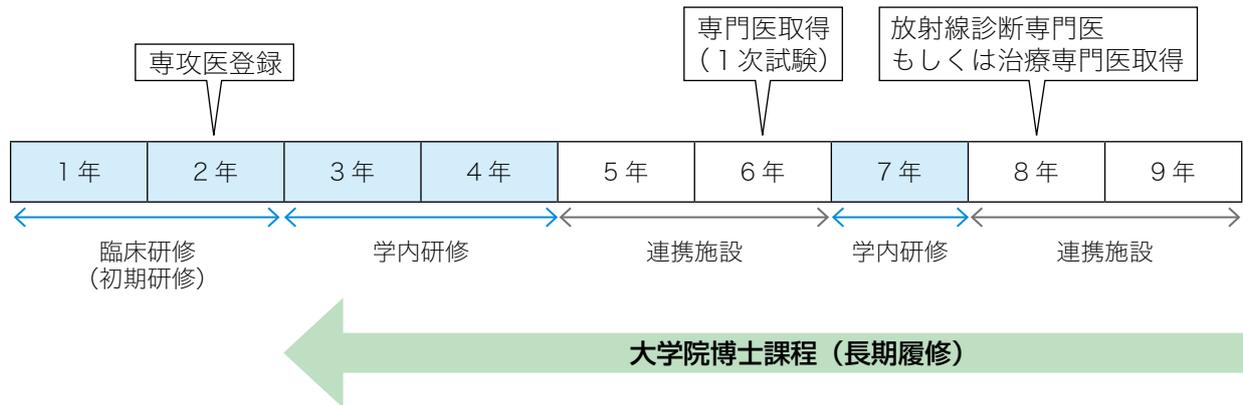


一般枠医師については、原則当科指定のプログラムのローテーションに従って研修を行います。3、4年目は和歌山県立医科大学附属病院で研修を行います。5、6年目は専門医修練施設で研修し、6年目に基本領域専門医取得を目指します。7-9年目は大学に戻って、研究や高度な医療に従事し、希望があれば国内留学も可能です。和歌山県立医科大学附属病院で後輩の指導を行いながら、臨床研究や臨床医療に従事し、8年目に自分の専門分野の専門医（診断専門医もしくは治療専門医）の取得を目指します。希望者は大学院に入学し、学位の取得を目指します。

ローテーション例

県民医療枠コース

※ □ は学内研修

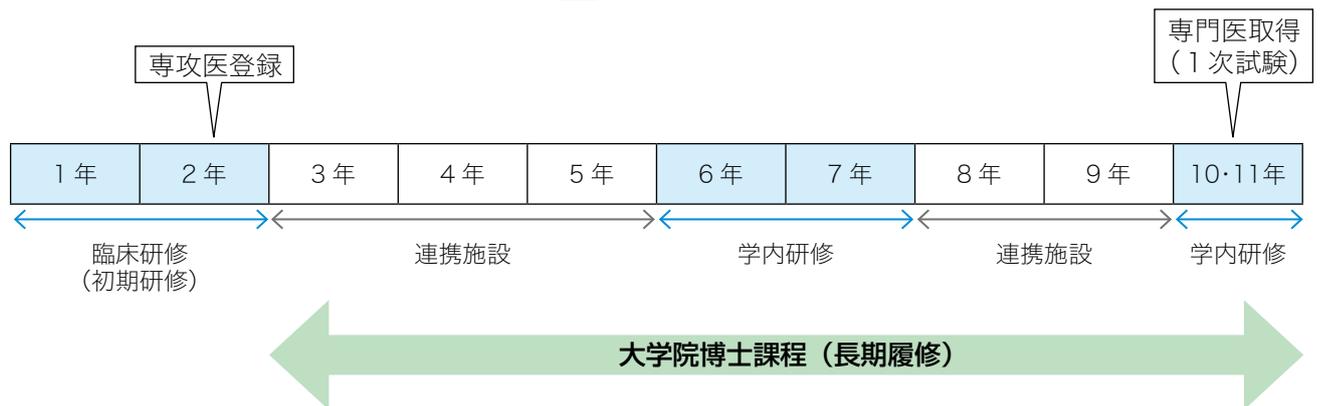


県民医療枠コースでは、3、4年目は基幹施設である和歌山県立医科大学附属病院で研修を行います。5・6年目は専門医訓練施設の地域中核病院である南和歌山医療センター、和歌山ろうさい病院、橋本市民病院、公立那賀病院などで研修し、6年目に基本領域専門医の取得を目指します。7年目は大学に戻って、研究や高度な医療に従事します。8・9年目には地域中核病院で後輩の指導を行いながら、週1回は大学で研究や臨床医療に従事し、8年目に自分の専門分野の専門医（診断専門医もしくは治療専門医）の取得を目指します。大学および地域中核病院で活躍できる医師を目指します。希望者は大学院に入学し、学位の取得を目指します。

ローテーション例

地域医療枠コース

※ □ は学内研修



地域医療枠コースでは、臨床研修（初期研修）の後、3年から5年目まではへき地医療拠点病院などで研修を行います。6、7年目には大学に戻り最先端の高度な医療や研究に触れ、8、9年目にはへき地医療拠点病院などで後輩の指導にあたりながら、放射線科のみならず総合医や家庭医としてのスキルを磨いていきます。なお、放射線科基本領域専門医は11年目に取得予定となっています。

研修目標

当科での研修は以下の能力を身に付けることを目標としています。

1. 医の倫理と医療の質
2. 医学物理
3. 放射線生物学
4. 放射線防護・安全管理
5. 画像診断学
6. 画像下治療（IVR）
7. 核医学
8. 放射線治療学

教授からのメッセージ



園村 哲郎 教授

画像診断では、X線単純撮影、CT、MRIなどのレポート作成を行い、放射線診断専門医のチェックを受けて下さい。電子カルテで必要な臨床情報を確認

し、検査目的を十分に理解した上で読影して下さい。

画像下治療（IVR）では、肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓術（TACE）、活動性出血に対する動脈塞栓術、胃静脈瘤や肝性脳症に対するバルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術（BRTO）、大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術（EVAR/TEVAR）、CVポート留置術、膿瘍に対する経皮的ドレナージ術などを行っています。これらの治療を実際に体験し、カテーテルやガイドワイヤーなどの操作手技を習得して下さい。

放射線治療では、リニアックを用いた肺癌、乳癌、骨転移の治療、トモセラピーを用いた頭頸部癌、脳腫瘍の強度変調

経験目標

当科では以下の経験を積むことを修了条件にしております。

放射線科専門医		診断専門医		治療専門医	
X線単純撮影	400例	X線単純撮影	600例	脳頭頸部	30例以上
CT	600例	CT	2000例	胸部乳腺	30例以上
MRI	300例	MRI	1000例	腹部骨盤部	30例以上
超音波	120例	超音波	400例	密封小線源	10例以上
IVR	30例	IVR	100例	特殊治療	5例以上
消化管X線撮影	60例	消化管X線撮影	200例	合計	200例
核医学	50例	核医学	100例		
放射線治療	30例				

放射線治療（IMRT）、イリジウム線源を用いた前立腺癌、子宮頸癌の組織内腔内照射などを行っています。実際の治療を見学し、放射線治療専門医の指導のもと治療計画を立てて下さい。

放射線診療に興味のある方はぜひ当科のプログラムに参加して下さい。



画像下治療（IVR）



画像診断



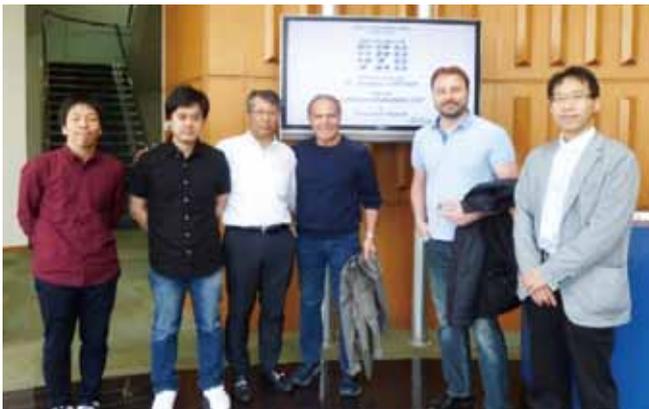
放射線治療（Tomotherapy）

当科で取得可能な専門医と指導体制

研修施設	放射線科専門医	放射線診断専門医	放射線治療専門医	IVR 専門医
和歌山県立医科大学附属病院	2名	8名	3名	5名
南和歌山医療センター		1名	1名	
岸和田徳洲会病院		2名		1名
耳原総合病院		1名		1名
和歌山ろうさい病院	1名	1名		
阪南市民病院		1名		1名
橋本市民病院		1名		1名
府中病院		3名		1名
公立那賀病院		1名	1名	1名
和歌山南放射線クリニック 和歌山 PET 画像診断センター	1名	2名		

学会、研究会、動物実験、歓送迎会、医局旅行などのイベントが盛りだくさんです。少しでも放射線科に興味をもっている方や話を聞いてみたいという方は遠慮なくご相談下さい。

↓ 第318回 日本医学放射線学会関西地方会



↑ 宮崎での動物実験



↓ 第28回 和歌山 Research and IVR カンファレンス



↑ 伊勢への医局旅行

